

# Japan Sign Design Association

## 地区連絡事務所及び地区代表幹事

■北海道地区：地区代表幹事 渡部 純子  
〒003-0811 北海道札幌市白石区菊水上町1条2丁目  
100-10-406  
ビートスタッフ デザイン 内  
tel: 011-867-0460 fax: 011-826-6672

■東北地区：地区代表幹事 竹田 正樹  
〒992-0055 山形県米沢市御廟3-2-35  
有限会社マルケイ工芸社 内  
tel: 0238-23-3375 fax: 0238-23-3374

■関東地区：地区代表幹事 久田 邦夫  
〒161-0033 東京都新宿区下落合2-1-15  
株式会社GKグラフィックス 内  
tel: 03-5952-6831 fax: 03-5952-6832

■中部地区：地区代表幹事 林 義雄  
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-15-30-201  
株式会社レ・プロローグ 内  
tel: 052-253-8445 fax: 052-253-8554

■関西地区：地区代表幹事 川西 純市  
〒544-0043 大阪府大阪市天王寺区勝山3-14-22  
サインズプラン 内  
tel: 06-7500-7955 fax: 06-6537-1837

■中国地区：地区代表幹事 佐藤 伸矢  
〒730-0051 広島県広島市中区大手町4-6-16 山陽ビル3F  
株式会社GKデザイン総研広島 内  
tel: 082-242-7755 fax: 082-241-5385

■四国地区：地区代表幹事 大川原 誠人  
〒760-0061 香川県高松市築地町9-21  
有限会社大川原染色本舗 内  
tel: 087-821-5769 fax: 087-821-5227

■九州地区：地区代表幹事 山田 貴史  
〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院3-12-22美山ビル802  
アシタデザイン株式会社 内  
tel: 090-5380-1743 fax: 092-577-5968

■沖縄地区：地区代表幹事 伊藝 博  
〒901-0306 沖縄県糸満市西崎町5-12-22  
株式会社タム 内  
tel: 098-852-3120 fax: 098-994-5234

## 令和3・4年度役員等

■役員  
理事[会長] 竹内 誠  
理事[副会長] 渡辺 太郎 / 山田 晃三  
理事[専務理事] 麦島 恒夫  
理事[常任理事] 久田 邦夫 / 金田 享子 / 定村 俊満  
武山 良三 / 島津 勝弘 / 渡部 純子  
川西 純市 / 松淵 泰典 / 山田 貴史  
理事 伊藝 博 / 大川原誠人 / 佐藤 伸矢  
竹田 正樹 / 林 義雄 / 宮沢 功  
横田 保生  
監事 井原 理安 / 小野 利器

■参与 赤瀬 達三 / 井原 理安 / 辻本 達廣

## SDA入会の手続き

■正会員[個人および法人]  
会員の資格  
1：本会の目的に賛同する個人および法人ならびにこれらの者を構成員とする団体。  
入会を希望される方は、入会申込書を本部事務局に提出していただけます。申込後、最も早い理事会で審査がおこなわれ、結果は速やかに通知いたします。

■賛助会員[個人および法人]  
会員の資格  
1：本会の目的に賛同する個人および、法人ならびに団体であって、賛助会費を負担する者。入会を希望される方は入会申込書を本部事務局に提出していただけます。申込後、最も早い理事会で審査がおこなわれ、結果は速やかに通知いたします。

■名誉会員  
1：本会に功労のあった者で会員総会において推薦された者。

■入会費	■年会費
個人正会員 30,000 円	個人正会員 48,000 円
法人正会員 90,000 円	法人正会員 144,000 円
賛助会員 なし	賛助会員 ひとつ60,000 円(2口以上)
名誉会員 なし	名誉会員 なし



公益社団法人日本サインデザイン協会 事務局  
〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2-9 富士セルビル3F  
tel: 03-5829-9506 fax: 03-5829-9507  
web: <https://www.sign.or.jp/>  
mail: [sda@sign.or.jp](mailto:sda@sign.or.jp)



## SDA(公益社団法人日本サインデザイン協会)とは

近年における都市機能の複合化や国際化の進展は、施設や地域での適切な情報伝達と快適な空間演出へのニーズを急速に増大させています。

SDAはこのような動向に先駆けて1965年4月に発足して以来、サインデザインの向上と普及を目指した幅広い活動を続けています。

本協会は、サインデザイナーはもちろん、グラフィックデザイナー、インテリアデザイナー、照明デザイナー、建築デザイナー、景観デザイナー、およびこれらに関連する教育機関、研究機関、関連企業など、多様なメンバーにより構成されています。これは、サインデザインがさまざまなデザイン分野の複合によって成立していることを示唆しているとともに、各デザイン分野の大きな関心を集めていることを示しています。

日本のサインデザイン界は今、世界でも最も活発な活動を展開しています。地域の活性化の軸として、企業のイメージ戦略の柱として、その需要は今後もますます増大していくことと思われます。

## SDAのあゆみ

戦後まもない1955年に結成された「関西ネオンデザイナークラブ」の活動が契機となり、1965年に「日本サインデザイナー協会」(後に「日本サインデザイン協会」と改名)が発足しました。

1966年には第1回のSDA賞(後に「日本サインデザイン賞」と改名) が実施され、NECネオンが最高賞に輝きました。華やかな大型ネオン隆盛の設立初期当時から、高度なデザイン力と公共的なサインの提案が目目された近年、そして環境のアメニティーを問われている今日と、日本サインデザイン賞 (通称SDA賞) の歴史はそれぞれの時代を映し出し、大きな指針となってきました。

その後第5回SDA賞からは「日本サイン・デザイン年鑑」を発行、現在はデザイン3団体合同の「年鑑日本の空間デザイン/ディスプレイ・サイン・商環境」を出版しています。1987年には専門誌「SDA review」を刊行、現在は「日本サインデザイン賞作品集」を毎年、発行しています。

また1987年には九州芸術工科大学 (現・九州大学) で全国規模のシンポジウム「コミュニケーション・フォーラム」を実施し、新しい地域コミュニケーションの視点を広げる原動力となりました。その後各地でシンポジウムや研究会などを開催、さらにヨーロッパ、アメリカ、アジア各地への海外研修や国際交流を実施するなど多彩な活動を続けています。

こうした活動が社会的にも評価されて1993年7月1日に社団法人化するにいたり、案内用図記号の開発、音サインの調査研究など様々なサインデザインに関わる活動を展開してきました。2008年12月1日の新公益法人制度施行にともない、2011年10月公益社団法人認定に向けた申請をおこない、2012年3月21日認定、4月1日登記となりました。さらに飛躍的な発展が期待されています。

## SDAの会員

SDAの会員には個人正会員、法人(および団体)正会員、賛助会員の3種類があります。

### ■個人正会員

サインデザイナーや研究者など、サインデザインの専門的知識を有する個人で総会議決権、役員の実選権、被選権などの権利を有します。協会が発行する広報誌、専門誌、会員名簿、セミナー案内などが配布されます。

### ■法人(および団体)正会員

デザイン会社、企画会社、サインメーカー、材料メーカーなどサインデザイン業務を営む法人および団体で、会員代表者(企業の代表者とは限りません)は総会議決権、役員の実選権、被選権などの権利を有します。協会が発行する広報誌、専門誌、会員名簿、セミナー案内などが配布されます。

### ■賛助会員

サインデザインの発展によって恩恵を受けるサインユーザーなど、本協会の目的に賛同して協力してくださる方々。協会が発行する広報誌、専門誌、会員名簿、セミナー案内などが配布されます。

### ■名誉会員

SDAに功勞のあった者で会員総会において推薦された者。協会が発行する広報誌、専門誌、会員名簿、セミナー案内などが配布されます。

### ■会員数

**総数**        **259名** (2021年6月現在)

個人正会員    229名  
法人正会員    19名  
賛助会員       11名



## SDAの運営

### ■総会

総会は正会員によって構成され、協会の運営に関する重要事項を議決します。通常議会は毎年春に開催され、各地区の持ちまわりでおこなわれます。

### ■理事会

理事会は正会員から選出された20名の理事と2名の監事によって構成され、総会の議決した事項の執行をおこないます。

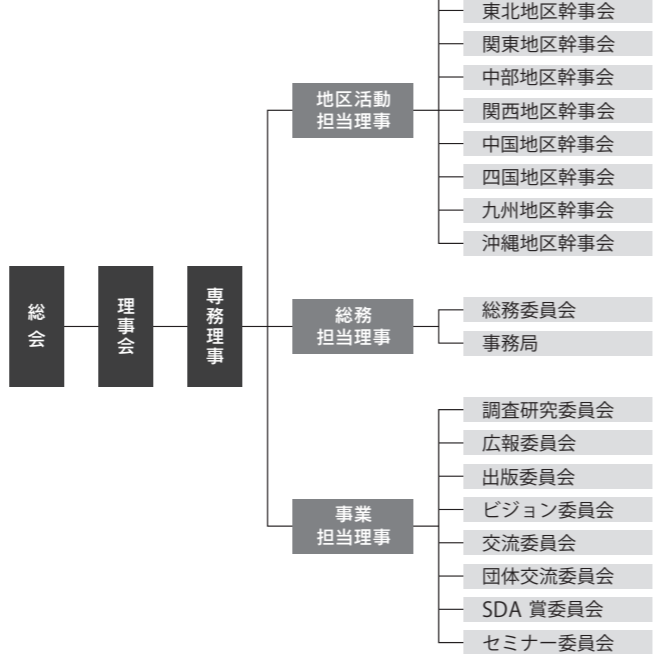
### ■地区連絡会議

各地区の代表幹事によって構成され、全国組織の運営および、研究会を中心とする各地区の事業計画をおこないます。

### ■委員会連絡会議

各委員会の委員長によって構成され、理事会の議決を受けてSDAの事業を実施します。

## SDA 運営組織図



## SDAの活動

SDA の活動には全国の会員で構成される各委員会を主体にした委員会活動と、各地区ごとにおこなわれる地区活動があります。

### ■委員会活動

サインデザインに関するさまざまな研究や普及を目的としており、会員は希望する委員会に所属して活動をおこなうことができます。

<b>調査研究委員会</b>	<b>広報委員会</b>	<b>出版委員会</b>
公共サインおよび商業サインに関する課題を調査し、的確な情報伝達と快適な空間づくりに寄与する調査研究活動をおこないます。	SDAホームページの管理・運営および、協会案内の発行をおこない、関連情報の収集、実施事業の広報、会員情報などを紹介し、サインデザインに関する啓発を図ります。	日本サインデザイン賞作品集、会員作品集、会員名簿他出版物の編集・発行をおこないサインデザインに関する情報を社会に広く提供します。
<b>ビジョン委員会</b>	<b>交流委員会</b>	<b>団体交流委員会</b>
サインデザインの役割、サインの概念などを研究し、社会に提供するとともにその成果はSDAの中長期活動指針策定に反映されます。	国内外機関との交流、会議情報の交換などを目的とした幅広い活動をおこないます。	日本デザイン団体協議会 (D-8) 空間デザイン機構との交流及び協力事業をおこないます。
<b>SDA賞委員会</b>	<b>セミナー委員会</b>	<b>総務委員会</b>
1966年より開催している日本サインデザイン賞 (通称SDA賞) の公募、審査、発表、表彰をおこない、優れたサインデザインの普及と啓発を図ります。	サインデザインに関する全国規模のシンポジウムやセミナー講習会を開催し、地区における研究会をサポートして人材育成やサインデザインの啓発を図ります。	SDAの組織管理と各事業のサポートをおこないます。

### ■地区活動

全国を北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄の9つの地区に区分けし、地域に密着した活動をおこないます。各地区では地区代表幹事および地区幹事、地区担当理事が活動のサポートをおこないます。

- 1 地区研究会        サインデザインに関わるさまざまなテーマにもとづいて、地区ごとに年間数回の研究会が開催されます。活発な意見が交わされ、地区活動の根幹となっています。
- 2 地区見学会        地区ごとに計画される視察・見学会で、サインに関する事例を、海外を含めたフィールドで視察します。